

測位航法学会全国大会講演会プログラム(平成22年3月23日現在)

平成22年4月24日(土)、於:東京海洋大学品川キャンパス楽水会館

参加登録は <http://www.gnss-pnt.org/taikai.html>

講演時間15分 質疑応答時間5分

1-1	電離層-1:24日9:15 座長:大塚 雄一(名古屋大学)	講演者	所属
1-1-1	GPSの長期予報暦に関する研究	肖 岑	東京海洋大学
1-1-2	GPS地盤変位計測における気象の補正方法の検討	増成 友宏	古野電気株式会社
1-1-3	地上型補強システム(GBAS)のプロトタイプ開発	福島 荘之介	電子航法研究所
1-1-4	宇宙環境シミュレーションモデルの開発および測位航法分野への利用	陣 英克	情報通信研究機構
1-1-5	GPS電波伝播遅延予測のための電離圏全電子数標準モデル	丸山 隆	情報通信研究機構
1-2	電離層-2:24日11:10 座長:丸山 隆(情報通信研究機構)		
1-2-1	測位衛星シンチレーションの多地点同時観測から求めた2008/6/9Es擾乱の構造および移動特性	今井 慧	電気通信大学
1-2-2	測位衛星シンチレーション観測による電離圏擾乱の移動および垂直水平構造推定	谷山 裕彰	電気通信大学
1-2-3	電離圏擾乱現象によるGPSロック損失	津川 卓也	情報通信研究機構
1-2-4	スプラディックEのGPS測位に対する影響の初期的評価	齊藤真二	電子航法研究所
2-1	タイミング:24日9:15 座長:浜 真一(情報通信研究機構)		
2-1-1	MSASをコモンビューに応用した長時間データ処理とその取り組み	伊藤 裕希	横浜国立大学
2-1-2	ETS-VIIIによる高精度時刻比較実験	中村 真帆	情報通信研究機構
2-1-3	準天頂衛星測位システム時刻管理系の実験計画	高橋 靖宏	情報通信研究機構
2-1-4	準天頂衛星搭載基準時刻管理部の開発	高橋 環	日本電気(株)
2-1-5	準天頂衛星 時刻管理系地上系の開発	堀内 聡	日本電気(株)
2-2	受信機技術:24日11:10 久保 信明(東京海洋大学)		
2-2-1	マルチパス誤差の推定による測位精度の改善	岩瀬 竜也	(株)豊田中央研究所
2-2-2	都市部移動体におけるマルチパス誤差低減	張 岩	東京海洋大学
2-2-3	RTK測位におけるDOPと測位誤差の関係に関する研究	池田 隆博	日本大学大学院理工学研究科
2-2-4	RTK-GPS/GLONASSにおける受信機間inter-channel biasのcalibrationとその評価	山田 英輝	東京海洋大学
3-1	GNSS応用-1:24日13:30 海老沼拓史(東京大学)		
3-1-1	熊本高専八代キャンパスにおける教育用GPSロボットカーの取り組み	入江 博樹	熊本高等専門学校
3-1-2	ZigBeeメッシュネットワークのGPSテレメトリへの応用と省電力アルゴリズム	森下 功啓	熊本大学自然科学研究科
3-1-3	MEMSジャイロ・加速度計・磁気センサ・対気速度計を用いた航空機の姿勢推定	橋本 良	東京大学
3-1-4	市街地での衛星測位の精度改善に関する研究	田中 敏幸	慶應義塾大学 理工学部
3-2	GNSS応用-2:24日15:05 高須 知二(東京海洋大学)		
3-2-1	GPSの50Hzサンプリングによる基線解析—背景とゼロベースラインテスト—	加藤 照之	東京大学地震研究所
3-2-2	空中重力測定における測位について	瀬川 爾朗	東京海洋大/(株)COSMOGRAV
3-2-3	FPGAによるGPSの海面反射波受信機の開発	川崎 洋平	東京海洋大学
3-2-4	GPS内蔵UVセンサシステムの作製と評価	鬼頭 由季	芝浦工業大学
3-2-5	GPS受信機による船舶姿勢の測定に関する研究	劉 曉鷗	東京海洋大学